

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-109961(P2006-109961A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-298303(P2004-298303)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月26日(2007.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の任意の撮像スライスの位置と傾きを指定する位置・傾き指定手段と、

指定された撮像スライスの断層像を撮影する手段と、

撮影された断層像を表示する表示手段と、

を備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記断層像の表と裏のうちどちらの方向から見たものについて表示するかを指定する表裏指定手段と、前記断層像のどの方向を前記表示手段の上にして表示するかを指定する上下指定手段と、の内の少なくとも一方を備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記表裏指定手段は、前記位置・傾き指定手段に対する方向を指定する表示を含むことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記位置・傾き手段は、前記撮像スライスの位置と傾きを指定する長方形の表示を含み、

前記表裏指定手段は、前記長方形の辺の表示態様を異ならせた表示を含むことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記上下指定手段は、前記位置・傾き指定手段に対する方向を指定する表示を含むことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、被検体の任意の撮像スライスの位置と傾きを指定する位置・傾き指定手段と、指定された撮像スライスの断層像を撮影する手段と、撮影された断層像を表示する表示手段と、を備えた磁気共鳴イメージング装置において、前記断層像の表と裏のうちどちらの方向から見たものについて表示するかを指定する表裏指定手段と、前記断層像のどの方向を前記表示手段の上にして表示するかを指定する上下指定手段と、の内の少なくとも一方を備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置が提供される。